

会派視察報告

県民クラブは、4月17日（水）～19日（金）にかけて、ネパール大使館、JICA、日本デジタル空間経済連盟、要町あさやけ子ども食堂の会派視察を行いました。

ネパール大使館では、ドウルガ・バハドゥール・スベディ特命全権大使から歓迎を受け、和やかな雰囲気の中、意見交換を行いました。大使から、「日本で学ぶネパール人が多いので、卒業後の日本での雇用を拡大したい。例えば、卒業後大分県内に5年間住めば何らかのメリットがある制度があれば、大分県内でネパールの若者の就業が拡大するのではないかと思う」「ネパールは現在、南アジアの貧しい国ではあるが経済成長は著しい。労働力不足の解消という視点だけではなく、同じ地域に住む仲間という大きな視点をもつていくべきだと思う。

その意味でも本県においてネパール国との友好関係を積極的に構築すべきだ」といったお話を伺いました。また、JICA（国際協力機構）では、南アジア部南アジア第二課の職員の方から、ネパール支援概況について詳しい説明を受けました。今後、県民クラブとしては成長著しいネパールとの友好・協力関係を発展させていきたいと考えています。様々な情報を得ることができたほか、会派によるネパール訪問の際には現地JICA事務所も視察の受け入れ対応も行いたいとの意向も示していただけなど、大変有意義な調査となりました。

日本デジタル空間経済連盟では、メタバースというデジタル空間技術を学ぶこと、行政サービスでのメタバースの今後の活用や課題などの意見交換を行いました。意見交換の中

で、メタバースの普及が進むことで、地方と中心都市との差異が減るというメリットがあること。そのためには、メタバース空間を利用する際のガイドラインの策定および見直しが必要となること。また、行政手続き（マイナンバーや光彩認証）がデジタル空間で完結することが理想であるとの示唆もいただきました。今後、わたしたちの暮らしと密接に関わってくると予想されるメタバースの最新情報を得ることができ、今後の取り組みの参考となりました。

また、全国で2番目に開設された要町あさやけ子ども食堂の取り組みについて、ご自宅を改装し、店主を務めている山田和夫さんからお話を伺いました。「単なる福祉活動ではない。本当に困っている人は福祉で対応できる。その狭間の『グレーゾーン』の人たちとどう関わっていくか、常に模索している」という言葉が印象に残りました。



【特命全権大使を囲んで】



【JICA(国際協力機構)】

表紙写真背景について

西洋音楽発祥記念碑：府内は聖フランシスコ・ザビエルがこの地で布教して以来、日本で最初に西洋文化が栄えた町となりました。弘治3年(1557)、府内教会では復活祭に聖歌隊が結成され、オルガンの伴奏で讃美歌を合唱しました。以降、府内の町からは、美しい讃美歌の歌声が流れるようになりました。また神父からピオラを学んだ少年たちは、永禄5年(1562)、領主大友宗麟の前でこれを演奏し、大いに称讃を受けたそうです。(「おおいた市観光ナビ」より)

県議会ホームページにて
一般質問の中継録画を視聴できます
<https://oita-pref.stream.jfit.co.jp/>

県議会HPにて過去分も含め、
各議員一般質問の全録画を視聴できます。



決議・意見書の採択状況 2024年 第2回定例会

	県民 ラ ブ 民	自 主 党	公 明 党	共 産 党	日 本 共 産 党	志 士 の 会	無 所 属	の 日 本 維 新	可 ・ 否
地方財政の充実・強化を求める意見書	○	○	○	×	○	○	○	○	可
義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	可
2024年度大分県最低賃金の改定等に関する意見書	○	×	×	○	○	○	○	○	否
医薬品や医療機器の安定供給確保及びイノベーション推進を求める意見書	○	×	×	○	○	○	○	○	否
実効性ある抜本的なカスタマーハラスメント対策を求める意見書	○	×	×	○	○	○	○	○	否
地方消費者行政に対する財政支援(交付金等)の継続・拡充を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	可